

新たな多賀町立博物館のあり方
実施計画

平成 29 年 11 月

多賀町立博物館

I 資料収集整理の推進

目標1 活用を見据えた資料の収集整理

(1) 館の方針に沿って、収集の方針・基準の策定を行います。

具体策	収集の方針、基準を定める。			
計画目標 (上段：年度)	29	30	31	32
	検討	実施	評価	見直し

(2) 計画的に資料の収集整理を行います。

具体策	収集整理計画を策定し、計画的に収集整理を行う。			
計画目標 (上段：年度)	29	30	31	32
	検討	実施	評価	見直し

目標2 収集資料の適切な保管と情報提供・活用の促進

(1) 収集した資料を適切に保管するため、収蔵施設の保存環境の維持に努めます。

具体策	収蔵庫の温湿度管理、清潔な環境を維持する。また、生物被害防止のため燻蒸処理を実施する。			
計画目標 (上段：年度)	29	30	31	32
	実施	実施	評価	見直し

(2) 収集した資料は、広く活用に資するため、目録、データベース等を作成し、公開します。

具体策	目録等を作成し、情報発信を推進、資料の利用促進を図る。			
計画目標 (上段：年度)	29	30	31	32
	実施	実施	評価	見直し

II 展示活動の展開

目標3 展示を通して多賀の未来を考える

(1) 常設展示は、最新情報を反映させたものに適宜更新を行います。だれもがわかりやすい展示を行います。

具体策	博物館の調査研究活動の成果や最新の研究を反映させた常設展示の適宜更新を行う。だれもがわかりやすく、楽しく学べるよう展示内容の工夫に努める。			
計画目標 (上段：年度)	29	30	31	32
	実施	実施	評価	見直し

(2) 多賀の自然や文化、歴史を知り、未来を考えるきっかけとなるような企画展を開催します。

具体策	収集した資料や情報を活用し、まちづくりにつながる企画展を開催する。			
計画目標 (上段：年度)	29	30	31	32
	実施	実施	評価	見直し

(3) 大学、研究機関等の調査研究成果の発信の場を提供します。

具体策	多賀をフィールドに調査研究を行う大学、研究機関、企業等と連携し、企画展開催を推進する。			
計画目標 (上段：年度)	29	30	31	32
	実施	実施	評価	見直し

Ⅲ 調査研究活動の推進

目標4 調査研究の推進と成果の公開

(1) 町や地域の活性化につながる調査研究をおこないます。

具体策	町の課題や住民のニーズを把握し、町や地域の活性化につながる調査研究を実施する。			
計画目標 (上段：年度)	29	30	31	32
	検討	実施	評価	見直し

(2) 住民や研究機関等と連携し、調査研究を進めます。また、住民が主体となって行う調査や多賀町をフィールドに研究を行う機関等への支援を行います。

具体策	住民、利用者、大学、博物館、その他研究機関等と連携協力し、調査研究を推進する。			
計画目標 (上段：年度)	29	30	31	32
	実施	実施	評価	見直し

(3) 調査成果を公開し、広く社会に還元します。

具体策	調査した成果は発表会、見学会、企画展などの開催、ホームページへの掲載、報告書の刊行、学術誌に公表するなど情報発信を推進する。			
計画目標 (上段：年度)	29	30	31	32
	実施	実施	評価	見直し

Ⅳ 教育普及活動の推進

目標5 生涯学習活動の支援推進

(1) 学習機会を提供するなど、住民の学習意欲や生活の向上への取り組みを行います。

具体策	講座、観察会などを開催する。			
計画目標 (上段：年度)	29	30	31	32
	実施	実施	評価	見直し

(2) 広く学習機会の提供を行うため、アウトリーチ活動を推進します。

具体策	学習ニーズに対応した出前講座を実施する。			
計画目標	29	30	31	32
(上段：年度)	実施	実施	評価	見直し

(3) 自主的な学習や調査研究を行う住民、利用者への支援を行います。

具体策	児童生徒の夏休み自由研究などの支援を行う。			
計画目標	29	30	31	32
(上段：年度)	実施	実施	評価	見直し

(4) 住民の生涯学習活動の成果発表の場を提供します。

具体策	夏休み自由研究作品展の開催や文化展の開催に協力する。			
計画目標	29	30	31	32
(上段：年度)	実施	実施	評価	見直し

目標6 学校教育との連携推進

(1) 館内での学習活動の支援を行います。

具体策	学習プログラムの開発・提供、学芸員による展示解説、実習指導を行う。			
計画目標	29	30	31	32
(上段：年度)	実施	実施	評価	見直し

(2) 学校へのアウトリーチ活動を推進します。

具体策	学校への出前授業や資料の貸出し、移動展示等を推進する。			
計画目標	29	30	31	32
(上段：年度)	実施	実施	評価	見直し

(3) 教職員等向けの研修に対する協力を行います。

具体策	博物館の活用に関する研修の開催・受け入れを行う。			
計画目標	29	30	31	32
(上段：年度)	実施	実施	評価	見直し

(4) 校外学習活動等の受け入れを行います。

具体策	調べ学習、職場体験、博物館実習の受け入れを行う。			
計画目標	29	30	31	32
(上段：年度)	実施	実施	評価	見直し

V 交流機能の充実

目標7 博物館を支える人材の養成とネットワークの構築

(1) 博物館との協働による調査研究、資料収集、標本整理などを行う人材を養成します。

具体策	ボランティアの養成、受け入れ体制の整備を行う。			
計画目標	29	30	31	32
(上段：年度)	実施	実施	評価	見直し

(2) 博物館に関係する活動の支援を行います。

具体策	住民、企業等が主体となる観察会、展示等開催の支援を行う。			
計画目標	29	30	31	32
(上段：年度)	実施	実施	評価	見直し

(3) 住民が交流できる仕組みをつくり、多様な交流機会の提供を行います。

具体策	住民同士や住民と来館者との交流を推進する。住民や研究者等のネットワークを構築する。			
計画目標	29	30	31	32
(上段：年度)	実施	実施	評価	見直し

VI 多様な情報の発信

目標8 多賀の魅力を世界に発信

(1) 多様な媒体を活用し、積極的な広報活動を行います。

具体策	広報誌・チラシ・ポスター等の作成配布、マスコミへの情報提供、ホームページの充実、SNS等を利用して最新の情報を提供する。			
計画目標	29	30	31	32
(上段：年度)	実施	実施	評価	見直し

(2) 多賀町の自然、歴史、文化、観光施設等の多様な情報を収集し、情報発信を行います。

具体策	町内施設の情報・資料を収集するとともに連携して情報発信を行う。			
計画目標	29	30	31	32
(上段：年度)	実施	実施	評価	見直し

VII 施設・環境の整備

目標9 安心、安全な施設整備への取り組み

(1) 厳しい財政状況に鑑み、効率的、効果的な施設の管理運営や事業を実施します。

具体策	効率的な空調・照明の更新や電気の合理的な使用を行う。関係施設と連携した効率的、効果的な事業の実施や施設機能の有効活用に努める。			
計画目標	29	30	31	32
(上段：年度)	実施	実施	評価	見直し

(2) だれもが安心、安全、快適に過ごして学べる施設・環境づくりを行います。

具体策	安心、安全を確保するために日常的点検の実施や有資格者による定期的点検を実施する。また、高齢者、障がい者団体の利用受入の推進、案内板等の多言語表記、学芸員の資質と来館者サービス向上に努める。			
計画目標 (上段：年度)	29	30	31	32
	実施	実施	評価	見直し

